

研究概要の一般公開

## 研究課題名

嗅神経芽細胞腫に対する陽子線治療の有効性及び安全性に関する遡及的研究

## 研究の背景および目的

嗅神経芽細胞腫は鼻腔に発生する稀な悪性腫瘍であり、40～50歳代の方に好発します。

嗅神経芽細胞腫に対する最適な治療法は未だ確立されていませんが、腫瘍が脳や視神経などの重要な臓器の近くに存在することが多く、通常の放射線治療では安全に治療することが難しく、陽子線治療の有用性が期待されています。

本研究では、嗅神経芽細胞腫に対する陽子線治療の有効性と安全性を明らかにします。

## 研究の対象

本研究の対象となるのは、1992年11月から2012年3月までの間に国立がん研究センター東病院にて嗅神経芽細胞腫に対して陽子線治療を受けた患者さんです。

## 利用する情報

対象患者さんに対して、診療録の情報をを用いて以下の項目を調査します。

年齢、性別、病期、化学療法を行ったかどうか、陽子線治療の線量、ご存命かどうか、再発の有無・場所・再発時の治療、副作用

## 研究責任者

国立がん研究センター東病院 放射線治療科

中村直樹

## 個人情報保護に関する配慮

閲覧する診療記録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は、匿名化したうえでカルテ番号のみを用いて管理し、個人情報が院外に出ることはありません。国立がん研究センター東病院で治療され、この研究の対象となりうる方で、研究に診療録の情報を使わないでほしいというご希望があれば下記連絡先へご連絡ください。

国立がん研究センター東病院 放射線治療科 中村直樹

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL 04-7133-1111